

欧州特許庁，2011年の出願件数を公表

2012年1月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は，1月17日，2011年の出願件数を公表した。プレスリリースによれば，出願件数は242,642件で2010年に比べて3%増加し，登録件数も62,115件と7%増加した。特にアジアからの出願が増加傾向にあり，中国からの出願が5%から7%へと大幅な伸びを記録した他，日本からの出願も18%から19%へと着実に増加し，米国に次いで2番目の出願件数を維持している。

また，バティステリ長官は，プレスリリースにおいて次のとおりコメントしている。「財政危機にも関わらず，昨年に研究開発への投資が活発に行われたことを知りうれしく思っている。継続的な特許出願件数の増加と欧州外の出願人からの高い割合は，ビジネス地域としての欧州の素晴らしい自信を明確に証明している。EPOは世界の特許システムにおいて主導的役割を果たし続けていく。」

なお，出願件数の算出方法として，従前は，Euro-direct 出願件数（PCTルートでなくEPOへ直接出願した件数）に，Euro-PCT 域内段階件数（PCT出願のうち欧州域内段階へ移行した件数）を足し合わせたものとしており，日本国特許庁の特許行政年次報告書と同様の算出基準を採用していたが，昨年からはEuro-direct 出願件数にPCT出願件数を足し合わせた数値とされたため，見かけ上，出願件数が膨らんでいる。

◆欧州内からの国別出願件数（総出願件数の38%）

- 1位：ドイツ（総出願件数の14%）
- 2位：フランス（総出願件数の5%）
- 3位：スイス（総出願件数の3%）
- 3位：英国（総出願件数の3%）
- 3位：オランダ（総出願件数の3%）

◆欧州外からの国別出願件数（総出願件数の62%）

- 1位：米国（総出願件数の24%）
- 2位：日本（総出願件数の19%）
- 3位：中国（総出願件数の7%）
- 4位：韓国（総出願件数の5%）

— EPOのプレスリリースは、以下参照 —

[Patent filings – new record in 2011](#)

— 国別出願件数の表は、以下参照 —

[Total European Filings in 2011 \(PDF\)](#)

(以上)